

令和6年産かんしょの作付面積及び収穫量

－かんしょの収穫量は71万7,000 t で、前年産並み－

【調査結果の概要】

1 作付面積

作付面積は3万1,800ha で、前年産に比べ200ha（1％）減少した。

2 10a 当たり収量

10a 当たり収量は2,250kg で、前年産並みとなった。

なお、10a 当たり平均収量対比は103％となった。

3 収穫量

収穫量は71万7,000 t で、前年産並みとなった。

図1 かんしょの作付面積、10a 当たり収量
及び収穫量の推移（全国）

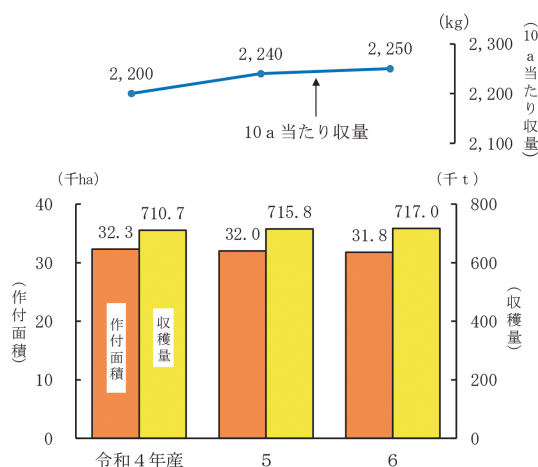
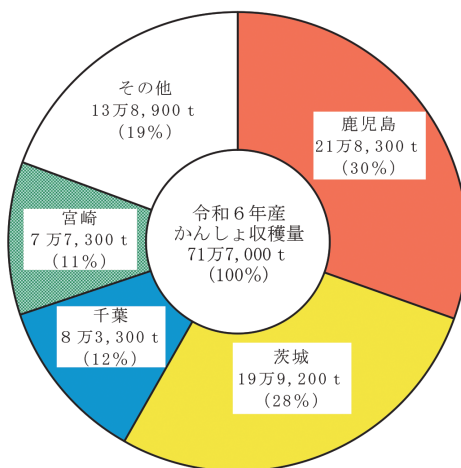


図2 令和6年産かんしょの都道府県別
収穫量及び割合（全国）



○ 10a 当たり平均収量は、前年産を起点とした過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値である。

※令和7年2月4日に農林水産省大臣官房統計部から発表された資料から抜粋・編集している。詳細は、同省のホームページ「統計情報の」以下のURLに掲載されている。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/pdf/syukaku_kansyo_24.pdf